

製品名: カルデスモンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21383**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:93kD;Observed MW:70kD

抗原情報

遺伝子名	CALD1
別名	CALD1;CAD;CDM;Caldesmon;CDM
遺伝子 ID	800
SwissProt ID	Q05682
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

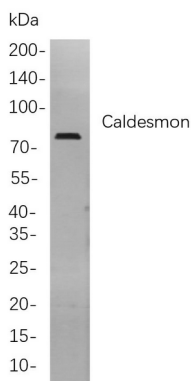
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は、平滑筋および非筋収縮の制御に重要な役割を果たすカルモジュリンおよびアクチン結合タンパク

質をコードしている。このタンパク質の保存領域は、Ca(2+)-カルモジュリン、アクチン、トロポミオシン、ミオシン、およびリン脂質への結合活性を有する。このタンパク質は、アクチン-トロポミオシン活性化ミオシン MgATPase の強力な阻害剤であり、Ca(2+) 依存性の平滑筋収縮阻害の媒介因子として機能する。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



Caldesmon Rabbit mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。